

会 報 絆

発行 公益社団法人
武蔵野市シルバー人材センター
編集 広報編集委員会
武蔵野市西久保1-6-27
多摩信用金庫武蔵野支店4階
電話 0422-55-1231(代)
URL <https://www.musashino-sc.or.jp/>

226 (新年) 号 もくじ

- ◆ 安達会長より新年のご挨拶 1
- ◆ 干支会員よりご挨拶 2~4
- ◆ 松下市長より新年のご挨拶 4
- ◆ リレー・エッセイ/私のチャレンジ教室 5
- ◆ 突撃レポート 現場へGO! 6
- ◆ 私のふるさと 7
- ◆ ひろば/新入会員紹介/編集後記 8



新年の挨拶

会長 安達 勝

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染状況につきましては新たな変異株が次々と現れ、なかなか終着点が見えず、今後どうなるのか全く予測がつきません。我々は国の方針に従って行動するしかありませんので、国の的確な判断を期待してやみません。本件に関し、会員の皆様におかれましては、今まで同様に適切且つ冷静な判断で行動して頂くよう、よろしくお願い致します。

さて、年頭にあたり、まず今期の事業状況について報告させて頂きます。今期も早いもので、3/4期を経過しました。契約額は昨年同時期と比較し、同程度の値となっており、前期並みの数字が見込まれるものと予測しております。

一方、会員数は残念ながら1,100名を下回っており、減少傾向は続いております。本件は全国的にも同様な傾向になっております。その理由につきましては機関紙「絆」や定時総会でも述べさせて頂いておりますので、ここでは省略しますが、この問題を解決出来るよう努力することがシルバー人材センターの重要課題のひとつではないでしょうか。

原点に返り、もう一度、シルバー人材センターの役割、即ち、健康で働く意欲のある高齢者の健康維持、生きがい作り、そして、社会貢献を支援するための組織であること。二つの理念、即ち、会員が自分たちの手で組織を育て発展させていく自主自立の理念、そして、会員が互いに協力し合う共働・共助の理念、を思い出し、そのように努力する事ではないでしょうか。そのための方策として当センターでは「地区活動の活

性化」を重点テーマとして掲げ（具体的な指針は令和4年度事業計画を参照）、数回の地区長会を開催しました。その中で、コロナ禍問題もありますが、各地区における会員間のコミュニケーション不足がある事が多く指摘されました。よって、コミュニケーションを図る機会を出来るだけ作る事。そして、その中から実施可能な「地区活動活性化」のテーマを設定し、その活動をスタートすることにしました。まだ、スタートしたばかりです。今後、進めて行く過程で、幾多の困難も予想されますが、一步一步進めて行く所存ですので、会員皆様のご協力をよろしくお願い致します。

次に全国の理事長・会長研修会で発表された話を紹介させて頂きます。

「シルバー人材センター会員の平均年齢が75歳を超えており、このままでは近い将来、平均年齢が80歳になる事が予想される。従って、今後は90歳まで就業出来るような仕事を創造すること、あるいは就業のシェア方法を考えることを真剣に考えないと会員の増加は見込めないのではないか」との指摘がありました。これも今後の重要な課題になると考えます。

最後に、今年もコロナウイルスに悩まされる状況が予想されますが、会員皆様にとって、ご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。



干支（卯年）の手芸品

今年は卯年（うさぎどし）

2023年は^{みずのとう}癸卯にあたり、「癸」は物事の終わりと始まりを意味します。また、「揆（はかる）」という文字の一部であることから「春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だそう。「卯」という字の形は門が開いている様子を連想させます。

この2つの組み合わせである癸卯には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているといえそうです。

2023年の卯年は、今までの数年間から大きく飛躍し、私たちの生活が大きく向上する年になって欲しいものです。



下記のテーマで寄稿をお願いしました

- ①新年の抱負 ②私の健康法 ③私の趣味

※氏名は会員証と同じものに統一してあります。

※生年月日は記載頂いた表記で掲載。



新井 鐘二

昭和14年生（中町）

③私の趣味

謹賀新年!! 本年も宜しくお願い申し上げます。私の趣味は読書と体操とコーラスです。今は読書に専念して居ります。図書館は宝の山です。輪投げスカットボール好きです。



井上 利一

昭和14年生（中町）

②私の健康法

1. ウォーキングを主体に休肝日を守り現状の体力維持。
2. 就業による生活リズムの確保と社会との係りでボケ予防。そして、友との会食とたまのゴルフを楽しみたい。



岩間 芙美子

昭和14年生（御殿山）

①新年の抱負

コミセンの七夕の折に、短冊に「死ぬ迄生きる」と書きました。友人達には笑われましたが本人はいたって真面目。転ばぬ様、寝たきりにならぬ様に市報配布を頑張りま〜す。

江戸 謙

昭和14年生（境）

①新年の抱負

三年前に脳梗塞を患い、毎日リハビリをしているお陰で後遺症の地誌的障害も好転しつつあり来年は七回目の卯年なので健康に留意して過ごしたいと思っています。



船戸 勲

昭和14年生（桜堤）

①新年の抱負

明けましておめでとうございます。今年も、生涯現役を目標に、元気で働ける体力を鍛え周りの人に迷惑を掛けぬ毎日を迎え、現在実施のボランティア活動も続けて行きたい。

榎田 冬雄

昭和14年生（桜堤）

②私の健康法

食生活に気をつけて体力の衰えを防ぐために身体を動かす事に努めています。足腰を鍛えるためにも出来る限り散歩も行い充実した毎日を送る事努力しています。

村上 宏子

1939年生（緑町）

①新年の抱負

入会して10年が過ぎました。市報配布、マンションのゴミ出し、家事援助等、色々楽しみました。今は老人ホームの居室清掃です。人間関係も色々ありましたが元気で働ける間は頑張ります。

渡辺 忠

昭和14年生（西久保）

①新年の抱負

本年も健康第一に皆さん（除草班）と共に異体同心の気持ちをもって歩み又時間ある時は五小パトロールを持続して参りたいと思っています。

**青木 幸雄**

昭和26年生（境南町） ②私の健康法
小学校施設管理員の校内巡回作業は、階数・階段が多いが、階段の高さが低く作られているので、負荷が丁度良く、足腰が鍛えられます。今年も、無理なく頑張ります。1万歩。

安藤 美津江

1951年生（境町） ③私の趣味
光陰矢の如し、6回目の卯年を迎える事が出来ました。60歳までは生きていたいと思いながら、今はおまけの人生を旅行が再開出来る日を楽しみに仕事で足を鍛えております。

内田 道行

1951年生（吉祥寺北町） ②私の健康法
1. 朝陽を浴びて深呼吸をする 2. 運動（早足歩きや登山など）で汗をかく 3. 良質な水を飲む 4. バランスの良い食事をする 5. 入浴による心身の安養 6. 和みの晩酌 以上

大橋 淑子

1951年生（吉祥寺北町） ③私の趣味
新年おめでとうございます。66歳から始めた漢字書道も5年目で師範試験に辿り着き衿を正しています。大好きな料理と共に楽しくキラキラの一年を過ごしたいと思います。

**木下 隆夫**

1951年生（境南町） ③私の趣味
還暦過ぎ、またも来たか年男。現役を退いた矢先のコロナ禍、行動が制限される中、長年続いたゴルフに加え、今年からはおもちゃ病院でのおもちゃ修理に没頭しております。

黒田 和男

1951年生（中町） ③私の趣味
ラケットを握って60年の卓球は百歳までラリーを続けられるよう頑張ります。また蕎麦打ちは八割蕎麦が打てるようになったので今は十割蕎麦に挑戦中です。

古林 和佳子

1951年生（八幡町） ②私の健康法
2022年1月から市報配布をさせていただいています。ゆっくり歩き、しっかり配布すること、皆さんのお役に立っていると感じることが、私の新しい健康法になりました。

**高瀬 卯之吉**

昭和26年生（西久保） ①新年の抱負
コロナに気をつけて仕事を少しでもよくできますことと、みなさんといいい年でありますように。

**高津 克人**

昭和26年生（境南町） ③私の趣味
明けましておめでとうございます。今年も趣味の金魚飼育、モケイ製作、蕎麦巡りを通じて健康管理及び老後のライフプランを充実させよく遊びよく楽しみ人の道を過ごしたい。

**多羅尾 真理子**

昭和26年生（桜堤） ②私の健康法
朝6:25から桜堤コミセンの公園でラジオ体操第一・第二・みんなの体操・スクワット25回をやった後仲間と小金井公園散歩20分が一日の始まりです。10年以上続けてます。

**中村 高一**

昭和26年生（八幡町） ②私の健康法
私の健康法は、散歩と社交ダンスで足の衰えを補なっています。又、シルバーの植木班で脚立や梯子に登り剪定をしているので足腰を動かす事が、健康の秘訣だと思っています。

**中村 重雄**

昭和26年生（吉祥寺本町） ③私の趣味
＜沖釣り＞15年前より、沖釣りを始めました。最初の出船では、船酔いが激しく私、自家製の撒き餌でカワハギを、幸運にも20匹ほど釣り上げました。家族は美味しいと喜んでいました。

**藤原 知子**

昭和26年生（桜堤） ①新年の抱負
6回目のうさぎ年を迎えました。美味しい物を食べ、友に会い、そして語らい、時には旅に出る。ほんの少しでも社会に関わることも忘れずまた一年過ごしたいと思います。

**堀 江 勉**

1951年生（吉祥寺北町） ①新年の抱負
シルバーの仕事を始めて早7年。男性の健康寿命は約73年。まだまだこれからですが健康第一をモットーに、日々の生活を充実したものにしていきたいと思っています。

三澤 正彦

1951年生（吉祥寺東町） ②私の健康法
ウォーキングと最も長生きに貢献の大きなスポーツとして知られるテニスです。特にテニスは仲間とのつながりを大切に少しでも健康寿命を伸ばして行きたいと思っています。

吉田 健一

1951年生（吉祥寺南町） ②私の健康法
自宅→井の頭公園駅→池の周り、途中、腕立て伏せを含むオリジナル体操→井の頭公園駅→自宅毎朝ウォーキング。週1回の卓球を2～3時間。183cm100kg、やせません。

**吉田 暁**

昭和26年生（吉祥寺東町） ③私の趣味
サックスを始めて7年。楽譜どおりの指使いで脳を活性化。くわえて腹式呼吸良いことづくめである。今はアンサンブルに参加し他のパートとの一体感を楽しんでいる。

**吉田 秀樹**

昭和26年生（吉祥寺南町） ③私の趣味
民芸のスリッパ、練り上げ、飛びカンナ等の技法で作陶された器類に魅了され、普段使いとして楽しんでいます。興味のある方は、つみ草、マルクス等を訪ねてみてください。

新 年 の ご 挨 拶

武蔵野市長 松下玲子



新年あけましておめでとうございます。

武蔵野市シルバー人材センターの皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

3年前から引き続く新型コロナウイルス感染症の影響下、市民のくらしや地元企業等に不可欠なサービスの提供を継続することにより、地域を支えてくださる皆さまに心より感謝申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の完全なる終息が見えない中、対策を講じたうえでイベントや行事などの開催が再開されるなど、世間では徐々に活気を取り戻しつつあることが感じられます。一方、急激な円安や生活必

需品の値上げ、海外情勢の変化などもありました。この難局を皆さまとともに乗り越え、一日も早く落ち着いた日常が戻りますことを祈念申し上げます。

市では、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、「まちぐるみの支え合い」を引き続き推進・強化してまいります。貴センターにおかれましても、いつまでもいきいきと健康に誰もが住み慣れた地域で生活を継続できることを目指し、高齢者の就業並びに社会奉仕活動の拠点としての役割を期待しております。市といたしましても、会員皆さまの豊かな経験や知識を生かした日々の活動が、市民福祉の向上につながるよう、引き続きセンターの運営を支援してまいります。

結びに、武蔵野市シルバー人材センターの益々のご発展と、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。



リレー・エッセイ

武蔵野に来て

東町 吉田 暁

目黒区から武蔵野に移り住んで20年になった。越してきて驚いたのは交通機関を利用せず徒歩圏内に動物園、百貨店、映画館があることだった。

会社員生活も終わり、街を散策中2つの出会いがあった。1つはシルバー人材センターの看板を見て説明会に行きすぐに入会し、最初の就業はリサイクルの家具班だった。

小・中学校の工作しか経験がないのに出来るだろうかと不安だったが、ベテランの人から「自分が買いたいと思うように作れば良いんだよ」の一言で納得、皆からいろいろな技術を教えてもらい、次第に納得できる物が出来るようになり、自分が再生した家具が売

れるのが嬉しかった。又、昔から武蔵野に住んでいる会員の話にも驚いた。昔は外に出ると富士山が見え、井の頭公園にプールがあり、吉祥寺駅前のサンロードはバスが走っていた等々、シルバーの会員になり、いろいろな人と交流ができた。

2つ目の出会いは街中で大人のための音楽教室の看板を見て、サックスを習い始めた。

小手先ならぬ口先では良い音は出ず腹式呼吸、楽譜を見て指を動かすので脳を活性化、今はアンサンブルに参加し皆と一緒に演奏を楽しんでいる。

これからいろいろな体験をし人生後半も武蔵野生活を楽しんでいきたい。

私のチャレンジ教室

吉祥寺南町 中谷 順一

50歳で退職。『一人でも出来る仕事』と思い、職業訓練校で造園・植栽を学び、植木屋で修行し“事業”を立ち上げましたが、失敗。その後、不安定な非正規労働者として幾つかの仕事に就き、今は僅かな年金と施設管理員をして糧を得ています。

同時に『複雑な人間関係からの解放』『思い立ったら青春』などと悦に入り、山に登る事になりました。市の「山のゼミナール」で手ほどきを受け「山の応援団」結成に参画し、奥多摩・高尾山・丹沢等の日帰り、北アルプスを中心に全国各地の山に出かけました。友人たちとは“大人の休日倶楽部パス”で故郷（青森）や東北各地の温泉付き山行を大いに

楽しみました。

当初は下り20分で右膝が痛み出す。帰りは酒好きのリーダーと立川駅前の居酒屋で一杯、駅の階段で激痛に喘いでいました。水中歩行や東急デパートの階段で足腰を鍛え、北ア・南ア・上州・日光などの宿泊登山、新幹線や深夜バスで四国・近畿の遠征登山に出向き、飛行機で北海道5回、九州3回往復しました。遂に、21年かけて71歳で東シナ海に浮かぶ雨の屋久島・宮之浦岳で百名山を達成しました。

山と一緒にいく、パーティーを組むという事は、雨の日も風の日も、歩調を合わせて歩く。休憩を取る、小用を足す、食事を摂る、同じ空間を共有します。

感動を素直に表現できる優しさが大事です。充実感や感動を一層高めてくれます。

妻や家族、山仲間の皆さんに感謝しながら、木漏れ日差す森の中を、小川のせせらぎを道連れに鳥たちの歌を聞き、風に吹かれながら山を歩いていたい。

好奇心旺盛で、至って健康ですが、一昨年から糖尿病の治療を始めています。妻と老夫婦二人暮らし、娘夫婦と孫二人は近くに住んでいます。



突撃レポート

現場へ



—私の就業体験記

ふれあい訪問収集の巻—

武蔵野市シルバー人材センターの事業の一つにごみ出しを助ける「ふれあい訪問収集」があります。2012年4月スタートの事業で、ごみ出しに不自由や困難を感じる方々への助けです。市からの委託を受けての仕事で、収集車が来る定められた場所までごみを搬出します。その際、ごみの有無を確認したり、「声かけ」により利用者の安否確認をするという大切な仕事も入ります。現在、この助けを利用しているお宅が130件程あり、仕事に従事している会員は60名とたくさんの方がおります。代表して5人の皆さんにインタビューしました。

加藤カズ子さん
(緑町)青木一誠さん
(緑町)田中雅子さん
(北町)伴野弘子さん
(北町)大石雅子さん
(西久保)

——活動を始められたキッカケ、動機についてお聞かせください。

伴野さん 前任者の方から依頼されて始めました。

田中さん センターの事業として立ち上げる時に理事の一人でもあり率先して関わりました。

青木さん センターの事業で「ごみの収集」が始まるからと当時の理事の方から声を掛けられ入りました。創設の2012年からの長きに渡ります。

加藤さん 声をかけてもらいました。緑町は利用される方が多い地区です。

大石さん 主人から受け継ぎました。

——活動の様子、大変な事、苦勞されている事、気を付けている事、などお聞かせください。

- ごみは結構重い時もあります。エレベーターが使えない時などは必死です。
- 優しくったり、気難しかったり、人との関わりですからいろいろありますが、長くやっていると元氣かな、大丈夫かな、など、気になるようになります。
- 安否確認でもいろいろな場面があります。ドアが開いているので声をかけて見るのですが応答がない時など戸惑う時もあります。
- ごみ収集日までの一時保管場所が家庭によっては中庭などにあることもあるのですが、収集日に玄関ではなくそこから運ぶこともあります。

- 雪の日でも、雨の日でも、暑い日でも行かなくてはならないのですが頑張っています。
- 踏み込みや気遣いなど、戸惑いや迷いもいろいろありますが、ごみ出しと安否確認という基本的な仕事と割り切って続けることが大事と考えます。
- 自分の作業を大事にしてそれ以上はやらない、ですね

——嬉しいこと、やりがいとは？

大石さん 人のお役に立てることが嬉しい。動けるうちはお役に立てたい。

伴野さん 動くことは自分の健康のためにもなる。

田中さん 待っていてくださる、そして「ありがとう」の一言、それが嬉しい。近所の人からも「いつもありがたいね」の声も。

加藤さん ドアを開けて声をかけてくれるのが嬉しい。ひと回りの仕事、運動として頑張れる。

青木さん やはり、待っていてくれる、そして「ありがとう」の声。これが嬉しい。それに4000歩の健康です。



ありがとうございました。ごみ出しに不自由な方に寄りそってのご活躍のお話から隣人愛、人間愛をしみじみと感じさせられました。まさに、素敵な社会貢献活動を見た思いでした。このような訪問収集事業のあることが一市民としても嬉しくもあり、誇りにも思いました。

【概要】

仕事の内容	ごみ出し、安否確認
仕事の場所	各地区の利用者宅
仕事の時間	概ね月～金の8:00～9:00
就業の人数	60人
配 分 金	一件264円
事務局担当	井田・山元・花立・常田

私のふるさと 第32回

—— 福岡県大牟田市 ——

境
森田 良國 会員

♪月が出た出た月が出た、三池炭鉱の上に出た♪
盆踊りでお馴染みの「炭坑節」の発祥地、有明海に面して遠くに雲仙普賢岳を臨む北九州のこのまちは、三井三池炭鉱の発展と共に戦中戦後の激動の歴史を積み重ねてきた。

森田：私が尋常小学校1年の12月に日本軍の真珠湾攻撃を機に太平洋戦争が勃発しました。戦中と言ってもまだ当時は、小4の時に学校の相撲土俵開きに地方巡業中の大横綱「双葉山」が来校し、体格の良かった私は対戦相手の何人かのうち選ばれて、その胸を借りることができました。もちろん敵う筈もなく、虫がたかった程度にはじき飛ばされてしまいましたが、強烈な思い出です。元気な強い子を育てるという国威発揚の一環だったわけですが、戦況は勝った勝ったと聞かされるばかり、提灯行列も行われました。6年の頃には小学生も勤労奉仕(新聞配達)を命じられ頑張ったけれど、やがて空襲も激しさをまして、我が家を含む近隣は殆ど焼夷弾で全滅しました。空襲翌日に煙の立ち上る焼跡を掘り返したら焦げたサツマイモが見つかって飢えを凌いだものです。

その後は横穴式の防空壕で生活しました。そして数日後、紺碧の空に赤みを帯びた巨大な雲がポッカリ浮かんでいた。大人たちは「長崎に落下傘爆弾が落ちた」と噂していました。その数日後に「敗戦の詔勅」があり、ついに敗戦となりました。

当時の学校制度では小学校を終えると尋常高等小学校(5年)が試験を受けて中学校(3年)に進む2通りがあり、私は旧制中学に入学しました。体育の時間は運動場を耕してサツマイモやカボチャを植え、校外の路上に出て肥料用に馬糞を拾い集めたりもしました。やがて学制改革で尋常高等小学校は中学に合わせて3年になりましたが、私の時はまだ途上で、3年間新入生がなく最下級生時代が4年続きました。その頃は上下関係が厳しく、怖い上級生ばかりで雑用やご機嫌とりの日常でした。特に短剣を腰に差した予科練(特攻隊要員)帰りは気性も荒く、先生方も遠慮気味に接していて、校外でも上級生と思われる生徒には深く頭を下げて見送ります。そうでないと、鉄拳制裁ですからね。特に私はその頃1

年間に11.5cmも伸びて、膝が痛くて足を引き摺って歩いていたほど。骨の成長が間に合わなくてアンバランスだったんですね。食糧難の中でも背丈だけは急激に伸びて当時の学校では大きかったから余計に目立たないように小さくなってないと…(笑)。やがて学制改革で中学校は新制高校となり、上級生が羨む(?)男女共学になりました。2年時には下級生も入学したし。

そんな訳で学生時代には身長173cm体重70kg、当時としては立派な体格になったせい、誘われてボート漕ぎになりました。写真(後方から3人目が森田さん)は練習や競技の場になっている「急がば回れ」の語源となった、琵琶湖の最南端の瀬田の唐橋のあたりです。ご存じの方もありますが、ボートには8名の漕手と先端で舵取りや号令をかける舵手



計9名が乗り、息を合わせてゴールまでの俊速を競います。乗組員全員が一体になってボートを進めるにはチームワークが最も大切です。なので自然と仲間の結束は固くなり、当時の友情は私にとって大切な財産となって、卒業して社会人となってからも今も折につけて、その貴重な出会いを有り難く感じています。

昭和から平成、令和への激動の変遷の中、戦禍をくぐり抜けた食糧難にもかかわらず伸び、今でも背筋のピンと伸びたすらりとした体型を保っておられる森田さんは、お話ぶりも気さくで楽しく、つい時間を忘れてしまいました。戦争の話題もさり気なく、戦後の過激な変化にも応じて世を渡ってこられたご苦労を敢えて感じさせない、穏やかなお話ぶりです。戦後、学生時代に培ったボート仲間との「絆」は、大切な心の支え、宝物なのですね。
(聞き手 高山編集委員)

コミセン文化祭でセンターPR

昨年10月から11月に各コミュニティセンターの文化祭が開催され、そこで当センターのPR活動が行われました。

コミセン文化祭自体がコロナ禍の中、数年ぶりの開催となり、今回は9か所、54名の会員が出席。活動はブロック理事や地区長を中心にセンターのパネル、チラシ、ティッシュ、看板等を配布・掲示、市民の方々に会員加入のご案内やお仕事請負の紹介をしました。

今回初めて西久保コミセンで手芸小物班の展示販売を行い、「是非来年も販売して欲しい」と声が掛かるほど盛況のうちに終了しました。



大盛況の手芸小物販売

市内5か所で一斉清掃実施

昨年11月27日、武蔵野市の呼び掛けのもと、武蔵野市民が各地域で一斉に清掃を行うイベントが実施され、当センターでも社会奉仕活動の一環として参加しました。

清掃場所は指定の区域が吉祥寺駅北口、三鷹駅北口、武蔵境駅南口の3か所、自主参加地域が関前と八幡町の2か所で、ブロック理事、地区長主導のもと、計56名の会員が参加いたしました。

参加者からは「清掃をすることで清々しい気持ちになり、来年も是非参加したい」との声がありました。



三鷹駅北口での一斉清掃

編集後記

皆様は新年にあたり何か抱負をお持ちでしょうか。

私は昨年、初めて一人旅をしました。多少の不安はあったものの思い切って挑戦して良かった事の一つです。今年もまた臆することなく新しいことにチャレンジしてみようと思っております。シルバー人材センターで、経験したことのないお仕事に挑戦するのもよいものです。初めてのことはいくつになっても不安と同時にワクワクもします！

昨年後半から、コミセンまつり等のイベントが少しずつ再開されるようになってきましたが、今年はどうなるでしょうか。世の中には困難なことに直面している方々もたくさんいらっしゃいます。そのような方々に心を寄せながらも、個人としては楽しく健康な一年になればと思っております。会員の皆様には元気にはつらつとお過ごしになり、ますますシルバーを盛り上げて下さることを願っております。(S.U.)